

2014年度

秋吉台お花畠プロジェクト

草丈が高くなった場所で草刈りし秋の花を増やす

共催:秋吉台エコ・ミュージアム
協力:秋吉台青少年自然の家



草刈り作業時、ロープの結び方を教えてもらいました。観察会では、新高型を食べながら花が咲きました。草原に寝転んでみたり、草で虫を作ってみたり、いろんな方法で楽しみました。

山焼き応援プロジェクト

ヤブ刈りや燃え残り整備で山焼きを応援する



長者ヶ森の前の燃え残り整備を行いました。観光のお客様も多かったので目印の赤い帽子が役に立ちました。

トピックス

「第10回全国草原サミット・シンポジウム in 阿蘇」にて事例発表（11月23日）



秋吉小学校6年生も第2回全国子ども草原サミットに参加。

草原の復元プロジェクト

外来植物を抑え在来植物の草原を再生する



山口大学農学部 藩間研究室
高下 竜太郎さん

学校の草原学習



美祢市立秋吉小学校 (草刈り体験と草刈り跡周辺の自然観察)

美祢市立赤郷小学校
(自然観察)



大津緑洋高校日置校舎 (草刈り体験)

2015年度

秋吉台お花畠プロジェクト

草丈が高くなった場所で草刈りし秋の花を増やす

共催:秋吉台エコ・ミュージアム
協力:秋吉台青少年自然の家



草刈り作業は例年より参加者が多く、曇り空も味方して予定より早く終わりました。スイカの差し入れはいつも人気です。
観察会で1m四方の花の数を数えると、草を刈った場所では最多で67本、対して草を刈っていないところは多くても5本でした。

草原の復元プロジェクト

外来植物を抑え在来植物の草原を再生する



夏の天候不順のためか、今年は草丈が低めに抑えられており、クズなどのつる植物も少なく、作業しやすかったとの声が聞かれました。
参加者がいつもよりも多く、さらに、刈り払い機を持ってきて下さった方が多かったので、2時間弱で作業を終える事ができました。

刈った草を持ち出している区域では、今年はサワヒヨドリが開花するなど、作業の成果も実感できました。

山焼き応援プロジェクト

ヤブ刈りや燃え残り整備で山焼きを応援する



長者ヶ森の前と横のドリーネ周辺の燃え残り整備を行いました。じわじわと燃えるところもありましたが、雨が降り出す前に作業を終えることができました。

学校の草原学習



美祢市立秋吉小学校（全3回：自然観察と草刈り体験、草刈り跡の観察）



山口農業高校（草刈り体験）

トピックス



山口きらめき財団より、理事長表彰である「県民活動きらめき賞」をいただきました。(11月7日)

2016年度

秋吉台お花畠プロジェクト

草丈が高くなった場所で草刈りし秋の花を増やす

共催:秋吉台エコ・ミュージアム
協力:秋吉台青少年自然の家



草丈は140cmもあり、傾斜もあるので作業は大変でしたが、子どもさん二人は大人顔負けの働きをしていました。フォークも上手に使っていました。観察会では道沿いのいろいろな草刈り跡地を観察しました。草刈りの頻度により植生が違うことがわかりました。今回の作業地はもともと花が少ない場所で、天候のせいもあってほとんど花は見られませんでした。それでも生育する種数は増えしていました。

草原の復元プロジェクト

外来植物を抑え在来植物の草原を再生する



どちらの作業とも刈払い機をお持ちの方が多かったので、特に草を刈って持ち出す区域は作業者同士の距離に気をつけながら作業しました。刈る草の量は多かったのですが、作業がスムーズに進んだので、特に9月の草刈りは今まで最短の時間で終りました。作業当時の大ヤブを思い出すと、継続することの力を感じます。

山口大学農学部 藤間研究室

浅沼 明さん

地下30cmの深さまで採取したサンプルを分析し、草を刈って持ち出すという復元作業が土壌の深層に与える影響について考察されました。

山焼き応援プロジェクト

ヤブ刈りや燃え残り整備で山焼きを応援する



2月に起きた山焼き事故を受け、今回は火入れは止めて刈払いによる整備にしました。周囲に気を配りながら、安全に作業することに努めました。しかしながら、燃え残ったヤブを刈るのは大変で、草刈りより火入れで整備したいという声が多かったです。

学校の草原学習



春の自然観察



草刈り体験



山焼き後の観察

美祢市立秋吉小学校 (全3回：自然観察と草刈り体験、草刈り跡の観察)